第56回　東海北陸公民館大会　福井大会

とき　令和3年11月11日（木）～12日（金）　ところ　福井市フェニックス・プラザ ほか

やって良かった福井大会～東海北陸公民館大会を終えて～

東海北陸公民館連合会 会長　江岸　徹

大会を開催するにあたり、コロナの感染者の動向を見ながら、どんなやり方をしたら開催できるか随分悩みました。

コロナの収束の見通しがたたないので、福井県以外からは大会関係者のみ参加いただくことにし、一般の会員の皆様には、参加をご遠慮いただきました。全国各ブロックでは、中止したり、誌上開催にしているところもありました。前回の福井大会より参加者（前回は約1,400名参加）は少なくなりましたが、コロナ感染予防対策をとり開催できましたことに対し、私たちは誇りと自信を持っていいのではないでしょうか。

大会で多大なご支援、ご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

第１日目全体会

東海北陸公民館大会福井大会実行委員長　中村　准

全国公民館連合会会長中西彰氏を始めとする東海北陸各県の大会役員、及び来賓として杉本達治福井県知事、東村新一福井市長等の皆さまを招き盛大に開会式を行いました。先立ってマリンバの平岡愛子さんとハープの鎌野太津子さんのデュオ演奏があり、福井ならではの趣向は大変好評でした。公民館の歌の斉唱、会長・来賓挨拶のあと、全国・東海北陸・県の各表彰が行われました。その後文科省の施策説明があり、さらに記念講演として、福井ブランド大使の秋元さくら氏と全公連理事の村松真貴子氏のトークショーが行われ、会場を盛り上げました。閉会式では大会宣言採択の後、次期開催県の富山に大会旗が渡され、参加者は２日目の分科会への期待に胸を膨らませました。

第３分科会「高齢社会と公民館」

国見公民館 館長　松井　司

事例発表「公民館から飛び出せ!出前講座で学ぼう」

国見地区は福井市中心部から約30キロ離れた越前海岸沿いにあり、交通の便は悪いが自然が豊かで健康長寿にはうってつけの地域である。国見公民館の高齢者対象事業「すこやか学級」は公民館までの距離が遠く、自力徒歩で参加しにくいこと等により参加人数に限界があり年々減少傾向だった。一方、地区社会福祉協議会は平成17年までに地区内の全町内（5自治会）で、「シルバー喫茶」の開設を完了させ、運営していた。

平成18年からは、この「シルバー喫茶」を利用して「すこやか学級」の出前講座を行うこととした。講義の内容は高齢者向けの防災、交通安全、健康維持の３テーマとし、シルバー喫茶の設営は地区社会福祉協議会が、講師との日程調整は公民館が行い、当日は公民館職員が講師に随行し、講座の進行役を担った。その結果、年間の受講者数は60名（平成17年）から303名（平成18年）と約５倍に増加した。

会場からは「毎週シルバー喫茶を開設していることはすばらしいが、お世話をしている人は大変だ」「男性の参加者を増やすための方策を検討すべき」等の感想や意見があった。

清明　「ときどきドキドキ全国子どもネットワーク」構築中 ～コロナが教えてくれたこと～

清明公民館 主事　金木　美東里

ときどきドキドキ全国子どもネットワーク

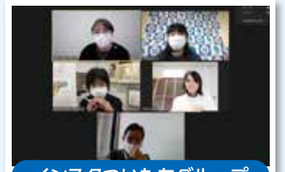
清明公民館の少年教育「せいめい夢王国プロジェクト」では、例年、集客して手作りの王国を開国してきたわけですが、コロナ禍になって、集客が叶わない状況が続き、学級生のみの野外活動をしてみるも、テンションが上がりません。そんな時、優良公民館表彰つながりの群馬県前橋市下川淵公民館の館長から連絡がありました。実践についてお話をした際、子どもたち同士の交流を提案してみたところ、下川淵児童保育所の子どもたちと交流できることとなり、令和２年２月「ときどきドキドキ全国子どもネットワーク」と銘打ったオンライン交流が始まりました。地区紹介や福井弁クイズなど、遠い県の子どもたちと画面越しに交流する楽しさは格別です。集客しての夢王国とは全く別の充足感があるようです。

そして今、このオンライン交流は驚きの展開を迎えています。子どものみならず、インスタグラムでつながった公民館職員同士の交流も併せて行ってきた結果、交流先は北海道から沖縄まで15道県25館以上に広がりました。

ときどきドキドキの化学反応には方程式はありません。

ときどきドキドキ
全国子どもネットワーク

ツイタチグループ


インスタついたちグループ

中央　試行錯誤しながらの「Zoomで配信事業」

中央公民館 主事　塩﨑　めぐみ

本年度、初の試みとして中央公民館の６つの講座を、Web会議ツール『Zoom』を利用して希望する地区公民館に配信する事業を実施しました。コロナ禍での対応という意味合いだけでなく、広く市民の方に学びの場を提供することを目的としています。生涯学習課から各ブロックに配置されたWi-Fiルーターを活用しての取組です。

６つの講座のうち、残念ながら青年対象のものは申込みがなく、全部で５つの講座に12館（延べ20館）79名の参加をいただきました。特に、初回の市民公開講座は歴史で著名な講師だったこともあり最も関心が高く、事前にZoom配信のリハーサルを行うなど念入りに準備を行いました。会場を広角にWebカメラで映し配信した回は、音声が聞きづらい、スクリーンが反射して見えづらいなどのご意見をいただき、スムーズに配信できるようパソコンの前で毎回冷や汗をかいています。

今年度は、館長・主事が今後の参考にと参加するケースが多かったのですが、次年度は地区館の事業の一環として取り入れていただけるよう、継続して取り組んでいきたいと考えています。ぜひご活用＆ご参加ください！

酒生公民館の様子

六条公民館の様子

● 令和３年度「Zoomで配信！」事業　実績一覧

No	開催日時	教育事業区分	内　容	講　師　名	参加公民館数	参加人数
1	7/17（土） 14:00～15:00	福井学 （市民公開講座）	～訪ねて感じる日本百名城の魅力～ 日本の城	奈良大学文学部文化財学科 教授　千田　嘉博 氏 【大阪府より発信】	8	26
2	8/21（土） 14:00～15:00	福井学 （福井学基礎講座）	若狭高校開発 「サバ缶」が宇宙食に	福井県立若狭高等学校 【小浜市より発信】※オンラインのみ	3	20
3	9/25（土） 14:00～15:00	健康長寿 （市民公開講座）	エアリハで姿勢を整え介護予防 ～転倒しない習慣作り～	お笑い理学療法士 日向亭　葵　氏	2	17
4	12/ 2（木） 14:00～15:30	環境教育 （環境講座）	SDGｓと私たち ～気象変動と水・食糧の行方～	福井大学医学部 非常勤講師　坪内　彰　氏	4	8
5	12/18（土） 14:00～15:30	福井学 （福井学基礎講座）	・福井学交流会 ・クラウドファンディングで東郷っ子の駄菓子屋オープン	・福井大学大学院 教授　柳澤　昌一　氏 ・東郷ふるさとおこし協議会 会長　藤井　紀光　氏	3	8
				合　計	20	79